

2024 年度（令和 6 年度）事業計画

はじめに

1. 新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という）の状況改善があり、両国の往来が再開されました。日本と中国間の交流事業等のより活発にすることで、関係の改善と促進に組織を挙げて尽力して参りましょう。
2. 2024 年は中国建国 75 周年です。そのことを記念するとともに、本年は組織内部での体制強化を図り、2025 年以降の記念事業に向けた組織基盤づくりをしていきたいと考えています。特に寄付金の募集等、運営状況を維持向上させるための取り組みが非常に重要です。
3. 各種事業を展開する中で、日中両国国民の相互理解の促進と相互信頼の構築を図ることを基礎におき、友好関係の発展のため一層の努力に尽くしてまいります。特に世界の分断を防ぎ、平和友好への転換が必要です。
4. 日中両国が互いに友好の絆で結ばれることはアジアの平和と世界の平和に貢献できる活動です。あらためて、平和を皆さんと力を合わせ維持するために、連携できるパートナーとの協力を深め、民間友好事業と官民の協力を発展させましょう。

2024 年度（令和 6 年度）の事業計画は以下の通りである。

1. 友好促進交流事業

1-1. 日中友好大学生代表団等の派遣

日中友好大学生訪中団（1 団 100 名程度）の派遣（2 回程度）

受入機関：中日友好協会又は各地人民対外友好協会

1-2. 日中友好協会代表団等の派遣

（公社）日中友好協会代表団の派遣（女性委員会等）

受入機関：中日友好協会

1-3. 中日友好協会代表団等の受入

中日友好協会代表団の受入

派遣元：中日友好協会

その他代表団・訪日団の受入

派遣元：中日友好協会、各地人民対外友好協会及び関係機関

1-4. その他訪中団等の派遣

その他代表団・訪中団の派遣

1-5. その他訪日団等の受入

1-6. 日中友好大学生スピーチ交流会

在日中国人留学生と中国語を学ぶ日本人大学生をオンラインで交流を行い、相互理解を深める。日本人と中国人が二人一組で中国語スピーチを作り上げ東京で開催する交流会で発表する。

イ. 7 月～8 月の 2 か月間それぞれがオンライン交流を行う。

ロ. 9 月に一堂に会し、交流会を開催。

ハ. 参加者 在日中国人留学生 5 月に募集を行う。

1-7. 日中友好協会アリアケジャパン奨学金

アリアケジャパン株式会社からの寄付を浄財に在日中国人留学生を支援する奨学金生の募集、選考を行い、奨学金を支給する。

イ. 2024年度は3名に奨学金を支給する。

ロ. 2025年度以降の奨学生募集に関する検討

1-8. 日中友好ボウリング大会

1-9. 日中友好交流都市卓球交歓大会に向けた準備

1-10. 日中友好交流会議に向けた準備

2. 中国語普及事業

2-1. 第42回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会

5月上旬に開催要項を発表し、各都道府県日中友好協会（以下「各県協会」という）に予選大会の開催を依頼する。

イ. 開催時期：2025年1月東京で開催。

ロ. 各県協会は、10月下旬までに予選の大会を開く。

ハ. 11月上旬 出場者エントリー。

ニ. 11月中旬 音源審査。全国大会出場者決定。

2-2. 公費留学生（中国政府奨学金）の募集・選考・派遣

中国政府奨学金生（以下「公費留学生」という。）の募集・選考・派遣

（1）2024年9月に留学する公費留学生の派遣。

7月下旬 中国政府より決定通知

8月上旬 研修会の開催

9月上旬 留学

（2）2025年9月に留学する公費留学生の募集・選考

12月 募集要項を発表

1月上旬 応募受付開始

1月下旬 第一次選考（書類選考）

2月上旬 第二次選考（面接試験）内定。内定者は健康診断、申請書の作成。

3月中旬 中国政府に推薦（申請書類及び健康診断書等の提出）

（3）OB・OGによる同窓会（中国留学友の会）

8月11日公費留学50周年記念イベント

（4）山東省内の大学に関する公費留学生の募集

2-3. 漢語橋中国語スピーチコンテスト

2024年4月に募集要項を公開し、スピーチコンテストを実施する。

イ. 開催時期：2024年6月

ロ. 場所：東京都内

3. 会報等発行事業

3-1. 会報「日本と中国」発行事業

イ. タブロイド版（カラー）12ページ。毎月1日付発行（年間の12回発行）。

ロ. 各地で実施されている友好事業の紹介と中国理解に役立つ情報の紹介を通じて日中の相互理解に貢献。

ハ. Web 発信の充実、SNS 等の活用による発信力の強化、アーカイブ、リンク型会報の調査
ニ. 縮刷版の発行の検討

3-2. 70年史の販売事業

70年史の販売（2022年度から継続）

4. 出版事業

4-1. 友好手帳 2025年版の発行・販売

4-2. 雑誌「人民中国」の販売

5. その他

5-1. 各県協会の活性化

(1) 協会実務者会議の開催

(2) 組織連携委員会の県協会支援方法の検討（6ブロック組織の活用）

(3) 未組織の県に県協会の設立を目指す

5-2. 2025年日中友好新年会等の開催

5-3. 講演会や展示会等の開催とその支援

5-4. 満蒙開拓平和記念館の見学推進

5-5. 日中友好7団体等関係団体との提携・協力

5-6. 寄付拡大に向けた取り組み

5-7. 人道的な観点から中国と日本の間における寄付金の募集を行う

5-8. 友好都市間の交流の促進

5-9. 在日華僑との連携

5-10. 中国建国75周年に合わせた行事

以上